

第4回大川地区学校再編計画地域協議会 会議録

日 時：平成20年1月9日（水）午後7時30分から9時15分

場 所：大川公民館 2階講座室

参加者：17名（欠席1名）

事務局：教育総務課長、学校教育課長、担当職員5名

傍聴人：1名

（会議内容）

1 会議の公開・非公開について

公開とする

2 議 題

（1）報告

①第3回大川地区学校再編計画地域協議会結果の報告

（2）議事

①第1回さぬき市学校再編計画地域連絡協議会結果について

②小学校の適正配置について

（質疑内容）

（委員）まず、中学校の再編を考えた後に小学校、幼稚園の順番で検討すべきでなかったか。中学校が何校になるかで、小学校が決まってくると思うが。

中学校は競争力をつけるため多くの人数がいいと思う。反面、小学校は少人数がいいのではないか。

他の地域協議会では統合の方向で進んでいるのか。

（事務局）（他の地域の状況を説明）

（委員）松尾小学校は、耐震補強でいけるのか。耐震補強で使用できるのであれば、維持できる人数があるうちはそのまま存続し、ある程度児童が減ったら、富田小へ行ってもいいと思う。富田小へ吸収合併でもいい。

（事務局）現状では、耐震補強で使用存続は可能である。再編の方式については、今の意見では、津田小と鶴羽小同じような形になると思う。鶴羽は吸収統合に抵抗があるようだ。

（委員）中学校を移転し、小学校は敷地も広い大川一中跡地へ移転する。松尾小学校の跡地に幼稚園を建設。保育所は富田に統合すればバランス的にもいいと思うが。

(事務局) 小学校と幼稚園を併設するのが理想と考えているが保育所も含めた検討も必要と考える。

(委員) 小学校は、児童館への移動を考えれば、大川一中が歩いていける距離でいいと思う。

(委員) 中学校跡地は、児童が使用するには快適な教育環境にはならない。再編するのであれば富田小学校がいいと思う。それの方が、早く対応できるのではないか。

(事務局) 現施設では、小学生には構造上無理がある。跡地利用となると小学生用の仕様に改築する考えである。

(委員) 富田小では狭くないか。

(事務局) 幼稚園、プールを更地にし、施設配置を見直せば施設面積としては十分である。

(委員) 富田小は今年もBGのプールを利用するのか。BGでなく松尾小では。

(事務局) 交流の機会を作ったほうがよい。松尾小でもかまわない。

(委員) 統合するのであれば、具体的に平成27年か。

(事務局) 可能であれば20年度から計画していきたい。

(委員) 中学校は4校がいいと思う。山手2校、11号線側2校。

(委員) 親が送迎するのであれば、仕事もあるので大変である。部活も考えなければならぬ。また、スクールバスでは無理がある。

(委員) 今後もこのような協議会をもつのか。

(事務局) 再編計画の方向性は3月に出したい。具体的な再編となると新たに再編に向けた協議の場を設ける必要がある。

3 次回の日程について

開催日時：平成20年2月6日(水)午後7時30分から

場 所：大川公民館